



勤怠管理システム「勤給解決」につきまして、お客様のニーズを反映し、機能強化版を開始しました。また、商品体系もID数を変動して利用できるよう「固定料金制」から「従量料金制」に見直しました。

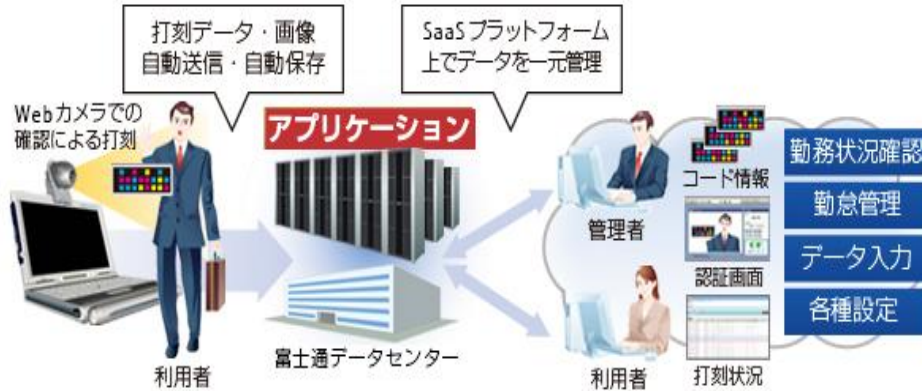
昨今時間外労働に対する指導強化など管理が厳しくなり、お客様は日々の勤怠管理を重視する傾向があります。そこで日々の就業管理に関する課題を短期間・簡易・低コストで解決できるSaaSサービスです。

【ここがポイント】

- ①操作性の向上
- ②法改正への対応
- ③利用者向け/管理者向けの機能強化

「勤給解決」とは？

カードをかざすだけで、瞬時に出勤時刻を記録する「カメレオンコード®(注)」を利用した勤怠管理システムです。タイムカードの記録をパソコンに入力し直す手間を省き、不正抑止にも役立ちます。



注)カメレオンコード®
(2次元カラーバーコード認証システム)
長距離・複数同時認識が可能な
高速・高精度認証システムです。
<特長>
・カメラにかざすと瞬時に認識
・長距離・複数同時認識が可能
・認識に専用機器は不要
・コードの発行は市販の
カラープリンタで可能
・低コストで導入

主な機能強化内容について(続く)

■ 操作性の向上

管理者画面「メニュー表示」
(ボタン操作でメニュー選択が
わかりやすくなります。)

(旧)メニュー表示



(新)ボタン操作



■ 法改正への対応

- (1)1ヶ月60時間を超える時間外労働について、割増賃金率の引き上げに対する対応
- (2)時間単位年休制度の創設に対する対応

■ 利用者向けの主な機能強化

- (1)表示言語（日本語、英語）の切り替え設定追加
- (2)タブレット、スマートフォンからのWEBブラウザタイムレコーダー機能の追加

本サービスを、タブレットやスマートフォンより利用しやすい画面に致しました。→



主な機能強化内容について(続き)

■ 管理者向けの主な機能強化

(1) IPアクセス制限設定の追加

不正打刻を防ぐため、特定のIPアドレスの端末しか打刻できないよう制御できるようにしました。

(2) パスワードポリシー設定機能の追加

管理者および従業員のパスワードポリシーの設定が行えるように致しました。

パスワードポリシーを設定することによりパスワードの有効期限、パスワードの再利用制限、禁止ワードを登録することでより高いセキュリティ環境になります。

(3) 1日、1週、1ヶ月の重複した変形労働時間制機能の追加

1日単位の残業、1週間単位の残業、1ヶ月単位の残業を複合的に計算が行えるように致しました。これにより労働基準法に定められた変形労働時間に対応することができます。

手配型名変更について

利用者IDの増減に対応できるよう、固定料金制から従量料金制に変更いたします。これに伴い、旧サービス体系の型名での新規販売中止とさせていただきます。固定料金制の旧サービス内容は、従量料金制の新サービスでも継続して提供いたします。

【旧サービス体系】

型名	品名
NS55901S	初期設定サービス
NS55902S	カメレオンコード発行サービス (販売終了)
NS55903S	カメレオンコード認識システム提供サービス
NS55905G	基本利用サービス
NS55906G	利用者ID追加サービス
NS55907G	画像保存期間延長サービス (販売終了)



【新サービス体系】

型名	品名
NS55910S	初期設定サービス
NS55911G	基本利用サービス (販売終了)
NS55912S	クライアントアプリケーションライセンス追加サービス
NS55913G	勤怠データ追加サービス

提供機能および価格／型名等

■ 基本サービス

項	サービス名	提供機能	単価(税別)	型名	支払い種別
1	初期設定	お客様専用の契約時のID数を使用できる環境設定。(カメレオンコードを利用される場合の専用のアプリケーション1式含む)	¥55,000円	NS55910S	従量一括払
2	基本利用	システム利用サービスの提供(※100ID分の利用料金含む) 勤怠データ36か月間、認証画像2ヶ月間保存。	¥30,000円	NS55911G	従量月額払

■ オプションサービス

項	サービス名	提供機能	単価(税別)	型名	支払い種別
1	クライアントアプリケーションライセンス追加	カメレオンコードを利用される場合の専用のアプリケーションをお客様環境に提供いたします。認識端末1台あたり1式必要	¥33,000円	NS55912S	従量一括払
2	勤怠データ追加(※1)	利用者IDを追加提供いたします。10ID単位での追加となります。	¥3,000円	NS55913G	従量月額払

■ 月額のお考え方

※ 1 勤怠データ追加利用料 = 当月に利用登録されたIDの合計の最大数で請求



SHieldWARE は、汎用のOS 機能では不可能なサーバのセキュリティ強化を実現するソフトウェア製品です。システム管理者も含めた全てのユーザに対するアクセス制御や詳細なログ記録により、不正アクセスやマルウェアの活動などの脅威による改ざんや情報漏えいに対して、強固なサーバセキュリティ対策を実現します。

【ここがポイント】

- ① ホワイトリストによるプログラム実行制御
- ② アクセス制御・不正操作検知（監査証跡）による標的型攻撃への対応
- ③ 統合管理サーバ暗号化DB Editionにより、監査ログデータの暗号化対応、エージェント管理台数増加を実現

社内の重要サーバを標的型攻撃から守る

特定の組織・人を標的とし、機密情報を詐取することを目的としたサイバー攻撃は増加の一途を辿っています。複数の対策を適切に組み合わせる多層防御の一環として、内部ネットワークにあるサーバの堅牢化が重要視されています。

個人情報や機密情報などの重要な情報は内部ネットワークのサーバにある

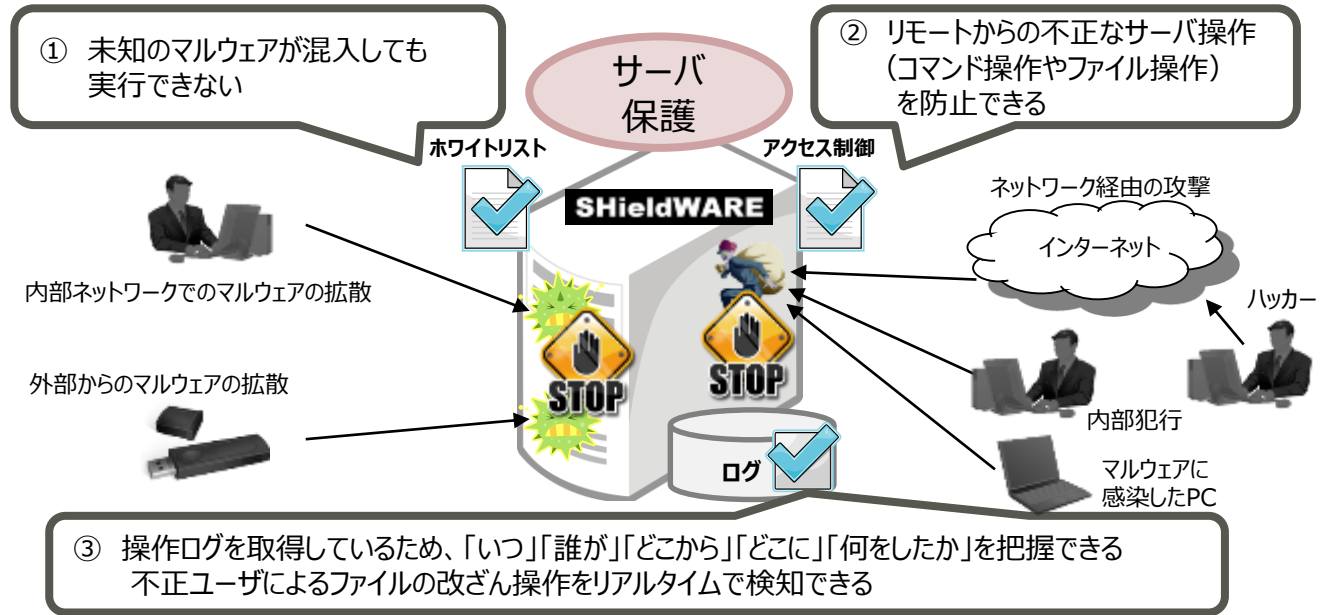
内部ネットワークにあるサーバは、パッチ管理や脆弱性の管理が不十分

新種ウイルスによる攻撃を検出できないため、内部ネットワークへ侵入される恐れがある



内部ネットワークに存在する重要サーバも攻撃を受ける対象となる

対策ソリューションの概要



動作環境 (SHieldWARE V04L10)

品名	対応OS
統合管理サーバ 暗号化DB Edition	Red Hat® Enterprise Linux® 5.5-5.11 (Intel64) Red Hat® Enterprise Linux® 6.3-6.8 (Intel64) Red Hat® Enterprise Linux® 7.0-7.3 (Intel64)
エージェント (保護対象サーバ)	Oracle® Solaris™ 10,11.0-11.3 (SPARC64™) Red Hat® Enterprise Linux® 5.5-5.11 (x86, Intel64) Red Hat® Enterprise Linux® 6.0-6.8 (x86, Intel64) Red Hat® Enterprise Linux® 7.0-7.3 (Intel64) Microsoft® Windows Server® 2008 (x86, x64) / 2008 R2 (x64) Microsoft® Windows Server® 2012 (x64) / 2012 R2 (x64)

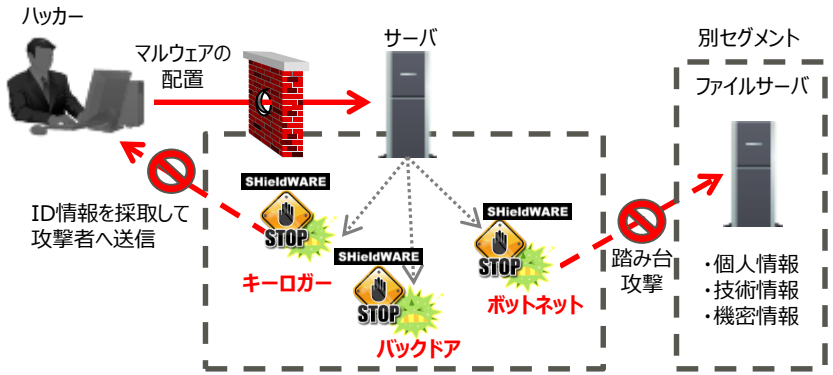
① ホワイトリストによるプログラム実行制御

POINT

導入効果

マルウェアが配置されても、実行できないため、情報採取が行われず、踏み台サーバとして利用されることを防ぐことができます。

- ・キーロガーを利用したID情報の奪取を防止できます。
- ・ボットネット等を利用した別サーバへの攻撃を防止できます。
- ・バックドアを利用したハッカーの容易なアクセスを防止できます。



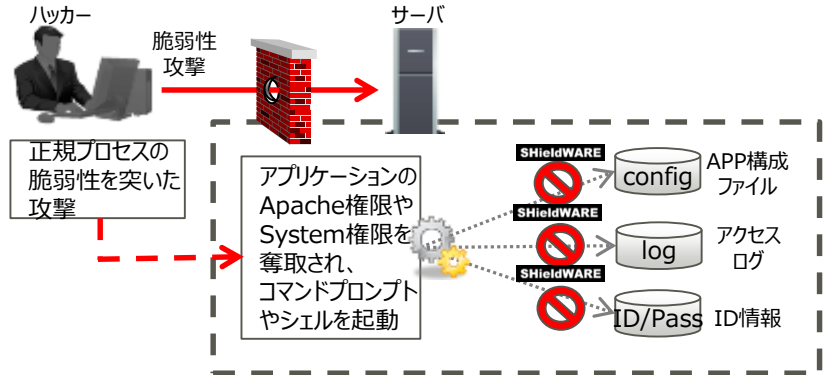
② アクセス制御

POINT

導入効果

Root/Administrator/system権限などの特権を奪取されても、重要なファイルの改ざんや、不正コマンド操作を防ぐことができます。

- ・不正操作の痕跡削除（ログの改ざん等）を防止できます。
- ・アプリケーションのコンフィグファイルやID情報などの改ざんを防止できます。
- ・不正ユーザからのコマンド操作（ID追加や設定変更等）を防止できます。



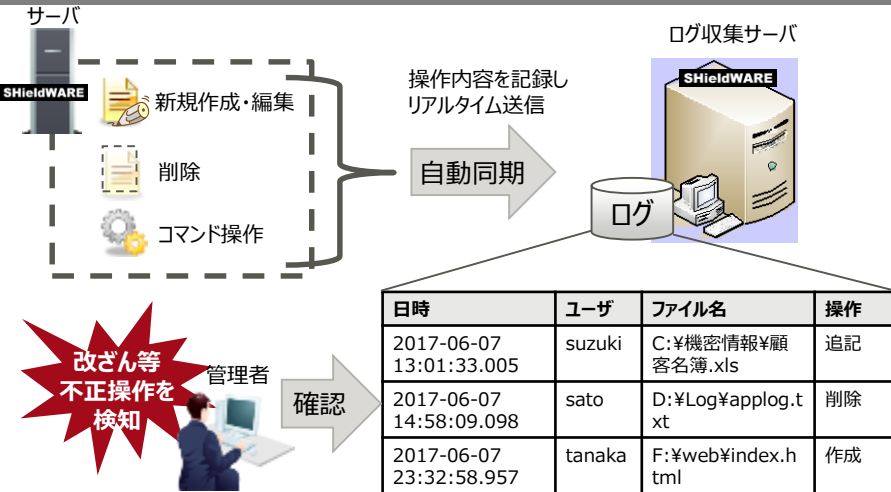
③ 不正操作検知（監査証跡）

POINT

導入効果

OSレベルでは取得できない詳細ログ（サーバの操作履歴など）をリアルタイムに取得できるため、ファイル改ざん等不正操作をすぐに検知できます。

- ・PCI DSS やNISC 統一基準で求められる要件に対応できるレベルの証跡を取得できます。
- ・不正操作のみを抽出することで、攻撃を早期発見できます。
- ・特権へと昇格する前のユーザ情報も取得できるため、詳細な原因究明を行うことができます。



製品価格

品名		標準価格(税別)	対象OS	提供形態
メディアパック	メディアパック	1万円	マルチ*1	DVD
	統合管理サーバ 暗号化DB Edition メディアパック	1万円	マルチ*1	DVD
統合管理サーバ	統合管理サーバ 用 ライセンス	48万円	Linux	ライセンス
	統合管理サーバ 暗号化DB Edition 用 ライセンス	150万円	Linux	ライセンス
仮想コンピュータ*2用エージェント	仮想コンピュータ用 ライセンス	28万円	マルチ*1	ライセンス
	1-2CPUサーバ用 ライセンス	38万円	マルチ*1	ライセンス
	1-8CPUサーバ用 ライセンス	64万円	マルチ*1	ライセンス
物理コンピュータ用エージェント	1-8CPUサーバ用 ライセンス	64万円	マルチ*1	ライセンス
	CPU数無制限サーバ用 ライセンス	98万円	マルチ*1	ライセンス

*1:Linux、Windows、Solaris

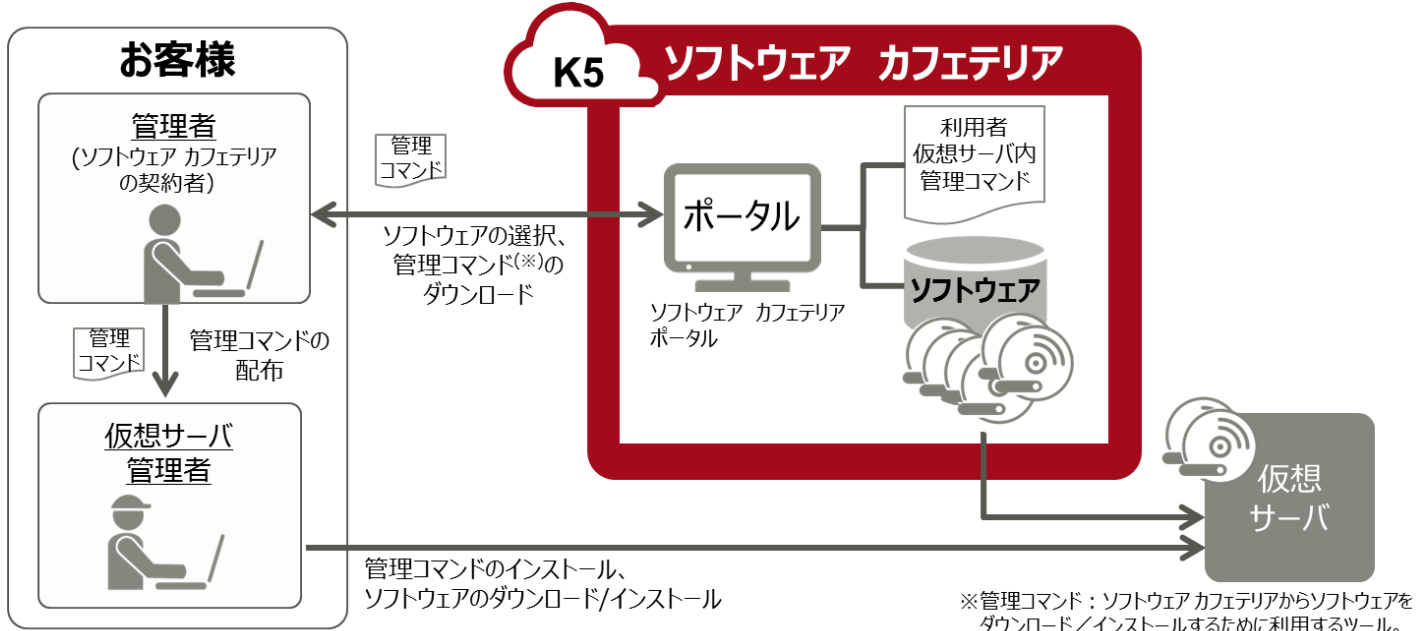
*2:VMware ESX/ESXi、Windows Server 2008R2/2012 Hyper-V、Oracle Solaris 10、11コンテナ(Global Zone、Non-Global Zone)、Oracle VM Server for SPARC、Linux KVM



「K5」は、オープンテクノロジーをベースに当社の知見やノウハウを『Knowledge』として蓄積させ、お客様の開発／運用の効率性を向上する新たなクラウドです。
この「K5」について、最近のエンハンス内容をご紹介します。

ソフトウェア カフェテリアとは

- K5 IaaSの仮想サーバ上に各種ソフトウェアをインストール／利用できるサービスです。月額料金または利用時間の従量料金でご利用いただけます。



ソフトウェア カフェテリアの特長

1. 1台の仮想サーバ上で様々なソフトウェアが利用可能

1つの仮想サーバ上で**複数のソフトウェアを同居**させて、運用することが可能です。

2. ソフトウェアの使用に制限をかけることが可能

契約者（お客様）にて事前に使用可能なソフトウェアを選択することで、仮想サーバの利用者が**インストールするソフトウェアに制限**をかけることができます。

3. 仮想サーバの運用変更にも柔軟に対応

仮想サーバの起動・停止はもちろん、フレーバー変更（スケールアップ）や、スケールアウト、スケールインといった仮想サーバの運用変更にも柔軟に対応して、課金することができます。

4. インストール後の課金種別の変更が可能

ソフトウェアをインストールして運用を開始した後でも、料金方式を月額料金から時間料金に、または、その逆に変更することが可能です。それらを何回でも変更することができます。ただし、変更対象は、翌月の利用分となります。

5. ソフトウェアの簡単インストール/アンインストール

ソフトウェアのサイレントインストール/サイレントアンインストール機能を採用することにより、ソフトウェアのインストール、アンインストールが一回のコマンド実行で可能になります。(※)

※一部のソフトウェアについては、サイレントアンインストール機能未実装のため、複数回のコマンド投入が必要な場合があります。

対象ソフトウェア一覧

ソフトウェア	ライセンサー	対応OS	
		Windows	Linux (RedHat Enterprise)
Interstage Application Server Standard-J Edition V11	富士通	○	○
Interstage Charset Manager Standard Edition Agent V9	富士通	○	○
Interstage List Creator Enterprise Edition V10	富士通	○	○
Interstage List Creator Connector V10	富士通	○	○
Systemwalker Centric Manager Standard Edition V15	富士通	○	○
Systemwalker Centric Manager Enterprise Edition V15	富士通	○	○
Systemwalker Operation Manager Standard Edition V13	富士通	○	○
Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition V13	富士通	○	○
Systemwalker Service Quality Coordinator Standard Edition V15	富士通	○	○
Systemwalker Service Quality Coordinator Enterprise Edition V15	富士通	○	○
Symfoware Server Standard Edition V12	富士通	○	○
Symfoware Server Enterprise Edition V12	富士通	○	○
Enterprise Postgres Standard Edition 9.5	富士通	○	○
Enterprise Postgres Advanced Edition 9.5	富士通	○	○
NetCOBOL Base Edition 運用パッケージ V11	富士通	-	○
NetCOBOL Base Edition サーバ運用パッケージ V11	富士通	○	-
NetCOBOL Standard Edition 運用パッケージ V11	富士通	-	○
NetCOBOL Standard Edition サーバ運用パッケージ V11	富士通	○	-
NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージV11	富士通	-	○
NetCOBOL Enterprise Edition サーバ運用パッケージ V11	富士通	○	-
PowerSORT Server V7	富士通	○	○
PRIMECLUSTER HA Server 4.4	富士通	-	○

各ソフトウェアの料金については<http://jp.fujitsu.com/solutions/cloud/k5/price/pdf/k5-price.pdf>をご参照ください ※2017年6月時点

課金の考え方について

- ソフトウェアごとに以下の課金種別から選択したいいずれかで課金されます。ライセンスは仮想サーバの仮想CPU数分必要です。

➤ 月額 (ライセンス・月)

ソフトウェアの使用時間にかかわらず月額固定料金が発生します。

サービス利用料 =

月額単価 × ライセンス数

※一部ソフトウェアについては、ライセンス数ではなく仮想サーバ台数で課金します。

サービス利用料 =

月額単価 × 仮想サーバ台数

➤ 時間 (ライセンス・時間)

ソフトウェアの使用時間に応じて従量料金が発生します。

使用時間は1時間単位で切り上げて計算します。(例: 1時間45分 → 2時間)

サービス利用料 =

時間単価 × 使用時間 × ライセンス数

- ・ 使用時間は、利用者仮想サーバ内管理コマンドにてインストール完了のメッセージが表示されてからアンインストール完了のメッセージが表示されるまでの時間を指します。
- ・ 仮想サーバの解放(shelve)時は課金されません。「月額」でご利用の場合は、該当料金月で一度でも仮想サーバが復元(unshelve)されると課金されます。
- ・ ソフトウェアによっては単一課金種別のみ提供の場合があります。
- ・ ライセンスフリーのソフトウェアは課金対象外です。